

2023年度ブルーカーボン量（面積）

ドローンによる空中写真撮影（2023年6月）
WebODMを用いて空中写真よりオルソ画像を作成
エクスポートしたオルソ画像をGoogleEarthに貼り付け
アマモ場縁辺の判定、ポリゴン作図により面積を算定



凡例		面積(ha)	凡例		面積(ha)
○	アマモ (被度95%)	2.8095	○	コアマモ (被度95%)	0.1744

※画像から、アマモ場が濃く密に繁茂すると判読した範囲についてコドラート調査の結果を基に被度95%とし、実勢面積を算出した。

【面積に対する確実性評価について】
対象面積内は水深0.5m-3mまでであるが、算定した対象面積は平面と想定されている。そのため、実際の面積に対して過小評価を行っていることから、面積に対する自己評価を100とする。

潜水目視調査による生育アマモの把握、
コドラート調査によるの被度の把握（2023年6月）
生育アマモの湿重量計測（2024年6月13日）

生育アマモ：
アマモ、コアマモ
（面積算定に反映）
被度：アマモ：95.0%
コアマモ：95.0%
（面積算定に反映）
1m2当たりの湿重量
アマモ：平均4.62kg
コアマモ：平均3.3185kg

※上記の撮影場所は左図（空中写真）の番号に対応
※2023年度は刈刈りを実施しなかった。
潜水目視調査の状況から、アマモ・コアマモ草体の生育は2024年度と同様の傾向であったため、湿重量は2024年6月13日の計測結果を用いた。

アマモ対象面積（実勢面積） = 面積合計 × 被度
= 2.8095 × 95%
= 2.669025 ha

コアマモ対象面積（実勢面積） = 面積合計 × 被度
= 0.1744 × 95%
= 0.16568 ha